

て広報でレポートした後でも、目を覆いたくなるような悲惨な交通事故がマスコミで何度も報じられました。事故を起こしてから後悔しても遅いのです。「後悔先に立たず」と言いますが、限りある人生をもっと大切に考えて欲しいのです。

交通安全講習会へ行った時の警察での話ですが、「取締り中捕まったのは運が悪い」とか、「他に違反者がいっぱいいるのになぜおれだけ捕まるのだ」と言う人もいるそうで、まったく言語道断と言わざるを得ません。この話は川崎市の話でしたが、まさか、大館にはそんな人はいないと信じたいものです。

現代は、車がないと社会生活を営めないといっても過言ではありません。せめて、みんなが交通规则を守り、事故のない社会を目

指したいものです。

広報は市民と

行政のハイブ役

佐藤 千里

春の訪れが感じられる今、広報編集担当者の助けを借りて、六年度の市民リポーターという大役を終わらせていただくことになりました。友人や広報の人が薦めてくださったこともあり、若輩の私が市民リポーターをお引き受けすることになりました。引き受けてはみたものの、広報の紙面を借りて市民の皆さんへお伝えできた事が何か一つでもあったか心配です。

つたない文章でお叱りの声があったかも知れませんが、私にとつては、取材の難しさや文章を書くことの難しさなどリポーターの経験で得た事がとても大きな糧にな

ると思います。

広報担当者は三人で、決して多いスタッフとはいえないと思います。毎月一日、十六日号の発行に向け、毎日取材、編集にと走り回っていました。広報『おおだて』は、市民と行政の唯一のハイブ、架け橋ではないかと思えます。その架け橋が、一人づつしか渡れないつり橋ではなく、一人でも多くの市民の皆さんが渡れる橋でありますように、広報編集担当者の努力を期待します。

リポーターを終えて

折田 誠子

恥ずかしい話ですが、今まで広報をいただいても読んだり読まなかったり、たぶん、捨ててしまったりしたこともあったかもしれません。それが短い期間でしたが、

リポーターとして広報制作に参加したことによって、物を作ることの大変さを知ったことはもちろん、自分自身の意識改革にも大いに役立ちました。今では、月二回の広報の発行日を楽しみに待っている一人です。

さて、リポーターといえば取材があるわけですが、これがなかなか大変でした。原稿の提出日近になってからあわてて取材をしたり、取材に行っても思うように聞き出せなかったり、せっかく取材をしなくてもうまく原稿に生かせなかったりと、苦労もたくさんありました。また、市の発展のために頑張っている人、自分の仕事に誇りを持っている人、伝統を大事に守ろうとしている人など多くの人の出会いがあり、今まで知らなかった立派な施設や建物があることなども知りました。

これでリポーターの仕事を終えるわけですが、これから直接ではないにしても、市民の一人として「広報作りに携わったんだ!」という気持ちを忘れないで広報を応援していきたいと思っています。短い期間でしたが、とても充実した一年でした。ありがとうございました。

これでリポーターの仕事を終えるわけですが、これから直接ではないにしても、市民の一人として「広報作りに携わったんだ!」という気持ちを忘れないで広報を応援していきたいと思っています。短い期間でしたが、とても充実した一年でした。ありがとうございました。

これでリポーターの仕事を終えるわけですが、これから直接ではないにしても、市民の一人として「広報作りに携わったんだ!」という気持ちを忘れないで広報を応援していきたいと思っています。短い期間でしたが、とても充実した一年でした。ありがとうございました。

広報が果たす役割

富樫 昌幸

ようやくリポーターの大役が終

わったというのが実感です。広報のページを自分が担当するんだと思うと、責任感が重くのしかか

つてきて、最初は何をリポートしたらよいか本当に頭を悩ませました。また、原稿の締め切りなどで、広報編集担当者やほかのリポーターの皆さんに迷惑をかけないようにと思いがたりリポートしました。ほかのリポーターのリポートを見て、大館の現状、観光資源、名物、職場での悩み等いろいろな事が分かり、とても勉強になりました。市民が市の現状を知るうえで、広報が果たす役割はとても大きいと思います。また、私たちがリポートしたことを少しでも市政に反映させていただければ、こんなうれしいことはありません。

私は農業を取り巻く問題をリポートのテーマにしました。今日、ガット・ウルグアイラウンドをはじめとする国際間の問題、後継者不足の現状、生産者と消費者の問題など農業を取り巻く問題にはとても難しいものがあります。私も農業を営んでいますが、これからの農業経営について悩んでいるのは私だけではないと思います。その現状について分かりやすいリポートができたか、少し不安です。

最後になりますが、私のリポートに協力して下さった皆さん、本当にお世話になりました。また、来年度の市民リポーターの楽しいリポートを期待しています。



佐藤千里リポーター

(緑ヶ丘)



折田誠子リポーター

(清水町)



富樫昌幸リポーター

(板沢)